

伊勢志摩：大地と海

伊勢志摩の景観は、深い常緑樹林に覆われたなだらかな山々と海岸沿いに浮かぶ島々からなります。海岸部は、湾や入り江の穏やかさと太平洋の荒波の対比が特徴的です。この地域の地質形成の歴史と、より近年において人々が営んできた持続可能な生活様式は、伊勢志摩国立公園全域に見られる豊かな生物多様性が生まれる基盤となりました。

志摩半島の地形は、プレートテクトニクスによって形成されました。プレート同士が互いに押し合い続けることによって海底の堆積岩が持ち上げられたこの地殻変動は、3億年前に始まりました。海岸線沿いには、入り組んだ岬や入り江からなるリアス式海岸がみられます。この地形は、1万年以上前、最後の氷河期の後に河谷が海に沈んだことによって形づくられました。湾内の島々は、海水が内陸部に流れ込んだ際に姿を現しました。海岸沿いの断崖は、長年の間に水位が上下を繰り返したことによって形成されました。